

2026年2月8日(日)

日本基督教団 大宮教会

大宮教会ビジョン

「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」  
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -  
(マタイによる福音書 28:19-20)

## 降誕節第7主日

朝第1礼拝 9:00~10:00

朝第2礼拝 10:30~11:45

夕礼拝 18:00~19:00

〈神の招き〉前 奏

① ただ神にのみゆだねまつる者は

バッハ

② 天にまします我らの父よ

ベーム

☑ 愛するイエスよ、我ら集いて

フィッシャー

招きの詞

詩編47:2~7

交読詩編

147:1~11

讃美歌

8

〈神の言葉〉聖書

詩編22:20~32

(旧約 聖書協会共同訳 838 頁)

ヘブライ人への手紙2:10~13

(新約 聖書協会共同訳 393 頁)

祈 禱

讃美歌

56

説教

「主イエスは私たちのきょうだい」

熊江秀一牧師

祈 禱

黙 想

讃美歌

419

〈神への応答〉使徒信条

献 金

主の祈り

宣教報告②☑

頌 栄

29

派遣と祝福

後 奏

① ただ神にのみゆだねまつる者は

ヴァルター

② 主よ我らを御言葉のうちに与えたまへ

ブクステフデ

☑ 主よ、我は汝により頼む

パッヘルベル

宣教報告①

### 今週の御言葉

というのは、多くの子たちを栄光へと導くために、彼らの救いの導き手を数々の苦しみを通して完全な者とされたのは、万物の存在の目標であり源である方に、ふさわしいことであつたからです。

(ヘブライ人への手紙2:10)

次週の礼拝(2月15日) 地区講壇交換・関東改革長老教会協議会講壇交換礼拝

② 10:30

説教「離れないでください」

清水義尋 牧師(岩槻教会)

詩編22:1~22、

マルコによる福音書15:33~34

交読詩編125:1~5

讃美歌4、55、436、29

① 9:00、☑18:00

説教「幸福と災い」佐藤潤伝道師

詩編1:1~6、

ルカによる福音書6:20~26

交読詩編125:1~5

讃美歌10、90、579、26

\*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。\*は祈祷当番の方。\*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、☑は夕礼拝。

■今週の祈禱課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 岩槻教会との講壇交換礼拝(埼玉地区・関東改革長老協議会)の為に
4. お迎えする清水義尋牧師(岩槻)の為に
5. 各部(壮年・婦人・青年・新しい会)例会の為に
6. 長老予備選挙の為に
7. 信教の自由を守る日の為に
8. 関東教区の為に
9. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
10. 病気の兄弟の為に

\*関東教区お祈りカレンダー

東所沢教会

ベウラ教会

狭山教会

終わりの時である今、神は「御子イエスを通して語られました」と告げた説教者は、さらに今日の箇所です「押し流されないように、聞いたことにいっそう注意を払わなければなりません」と勧める。「押し流される」は、舟で押し流される姿が込められる。私たちの信仰生活も真直ぐに進みたいと願っても、誘惑や妨げによって、救いから逸れてしまうことがある。そんな信徒に向かって、御子イエスの言葉を聞き、いっそうの注意を払うように勧める。

2節で説教者は「天使を通して語られた言葉」律法によって、私たちの罪は明らかにされ、その報いが明らかにされると告げる。その私たちが、神の「大きな救い」をないがしろにするならば、だれも罪の報いから逃れることはできないと宣言する。「大きな救い」を受け入れることが何よりも大切である。

この神の「大きな救い」とは御子イエスの十字架と復

活による救いである。

説教者は詩編8編を引用してその救いの恵みを告げる。彼は「人の子」を御子イエスと理解し、人の子が低く、その十字架によって天使に劣る者となられたと告げる。それは「すべての人のための死」であり「神の恵み」と宣言する。それによって御子は「栄光と誉れの冠を授けられた」のである。

この「神の恵み」によっては「神なしで」とも訳せる。神なしの死は、御子が神に見捨てられ死んだことを意味する。本来、罪人である私たちが受けるべき絶望と滅びを私たちに代わって受けて下さった。それによって私たちの罪は赦された。だから御子の「神なし」の死は、私たちの「神の恵み」の出来事となる。

私たち信仰者は見ることができる。「栄光と誉れの冠を授けられた」十字架の主のお姿を。そのお方は揺らぐことない。この「大いなる救い」を歩もう。